

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

下水道事業は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。
この施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	27,439,107
	決算	
	事業費 (A)	27,356,707
	人件費 (B)	82,400
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
企業債残高(億円)	億円	1277	目標	1646
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)	○	○		16,294,142	16,218,742	10.0		1.0	1.0	
2	浜松市下水道事業(資本的支出)		○		11,144,965	11,137,965	1.0				
計					#####	27,356,707	11.0	0.0	1.0	1.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

下水道は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。この施設を適正に管理運営し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

また、平成27年度末に静岡県から移管される西遠流域下水道について、民間活力を最大限に活用した効率的な

◇事業の概要

○下水道事業に係る経営管理

・持続可能かつ健全な経営の推進

○下水道事業に係る組織・人事管理

・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化

○災害対策事業

・部内及び他都市連携による防災訓練の実施

○下水道の普及啓発事業

・通常では、目に触れる機会が稀な、インフラとしての下水道に対する理解及び安全・安心の啓発

【重点戦略項目No.100、133】

平成27年度末に静岡県から移管される西遠流域下水道について、平成30年度よりコンセッション方式を導入し、民間事業者運営を委ねる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和42年度	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	○	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	16,218,742
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	10,549,635
	一般会計繰入金	5,669,107
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		75,400
人工	正規	10.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	1.0
	非常勤	1.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
企業債残高(億円)		1646		1615	1277
職員定数(人)		111		106	105
防災訓練(研修)の実施回数(回)		15		15	15
啓発事業の開催回数(回)		1		1	1

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
100 133	実施方針(案)公表 実施方針公表 募集要項公表	第一次審査 第二次審査 優先交渉権者決定	契約締結 事業引継	コンセッション開始

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇取組概要

下水道事業における企業債残高の計画的な削減に取り組み、経営健全化を推進する(市の財政負担を軽減)。平成28年4月1日に静岡県から浜松市へ移管される西遠流域下水道について、平成30年度よりPFI法に基づくコンセッション方式を導入し、民間活力を最大限活用した効率的な事業運営を行う。

◇行財政改革の視点 2 行財政基盤の強化

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

- 行政経営計画 取組番号・取組事項名 2006 下水道事業における企業債残高の削減
 取組番号・取組事項名 5004 西遠流域下水道へのコンセッション方式の導入
- 個別計画等 計画名等 下水道事業中期財政計画(企業債残高の削減)

政策・事業シート (以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標 (単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
建設事業費(億円)	計画値	55.0	72.0	72.0	72.0	(H36) 72.0
	実績値					
	計画値					
	実績値					
	計画値					
	実績値					
効果額 (千円)		0	0	0	0	0

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

▶

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

下水道は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。この施設を適正に管理運営し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇事業の概要

○企業債償還金

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和42年度	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	11,137,965
	決算	
	国・県支出	
	市債	2,882,900
	その他	
	一般財源	7,426,821
	一般会計繰入金	828,244
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	7,000
人工	正規	1.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
企業債残高(億円)		1646		1615	1277

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
(予算費目名) 下水道会計支出金

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

下水道事業は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。
この施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	6,497,351
	決算	
	事業費 (A)	6,497,351
	人件費 (B)	
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	下水道会計事業出資金				5,669,107	5,669,107					
2	下水道会計事業負担金				828,244	828,244					
計					6,497,351	6,497,351	0.0	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 下水道会計事業出資金

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	5,669,107
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	3,020,000
	一般財源	2,649,107
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	
人工	正規	
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 下水道会計事業負担金

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	828,244
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	828,244
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	
人工	正規	
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道や浄化槽等それぞれの汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案したうえで、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備を行い、汚水処理システムの早期概成を目指す。
また、適正な運営管理を行うなかで、汚水処理施設の未整備区域における施設整備や既整備区域における施設の改築・更新や耐震化を推進し、持続的な汚水処理システムを構築する。
本政策では、下水道への接続促進及び宅内排水設備工事の事前相談に対する技術的指導や下水道使用に関する監督・指導を行なう。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	98,238
	決算	
	事業費 (A)	13,238
	人件費 (B)	85,000
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
汚水衛生処理率	%	95.5	目標	86.0
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)		○		98,238	13,238	10.0	2.0	3.0		
計					98,238	13,238	10.0	2.0	3.0	0.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

下水道事業効果を高めるため水洗化率(接続率)の向上を図るとともに、適正な宅内排水設備施工のため指定工事人に対する技術的指導及び下水道使用に関する監督・指導を行う。

◇事業の概要

○水洗化促進事業

- ・職員及び業務委託による訪問勧奨の実施

○宅内排水設備指定工事人に対する指導・監督事業

- ・指定工事人を対象とした技術講習会の実施

○宅内排水設備工事の相談・受付・検査業務

- ・宅内排水設備工事の事前相談に対する技術的指導及び下水道使用に関する監督・指導の実施

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S42	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	13,238
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	13,238
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		85,000
人工	正規	10.0
	再任用(h31)	2.0
	再任用(h26)	3.0
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
下水道水洗化(接続)率 (%)		94.8			97.1

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇取組概要

下水道使用料の増収を目的に、下水道未接続者への接続勧奨強化に取り組み、下水道事業の財政基盤強化を図る。

◇行財政改革の視点 5 事務事業の見直し

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

行政経営計画 取組番号 5001
 取組事項名 下水道水洗化率(接続率)の向上

個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート (以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標 (単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
戸別訪問(戸数) ※H27、H28は業務委託による訪問戸数含む	計画値	9500	9500	7000	7000	3000(H40)
	実績値					
	計画値					
	実績値					
	計画値					
	実績値					
効果額 (千円)		累積	31,114	31,114	31,114	31,114
						124,456

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
(予算費目名) 浄化槽普及費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道や浄化槽等それぞれの汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案したうえで、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備を行い、汚水処理システムの早期概成を目指す。
また、適正な運営管理を行うなかで、汚水処理施設の未整備区域における施設整備や、既整備区域における施設の改築・更新や耐震化を推進し、持続的な汚水処理システムを構築する。
本政策では、浄化槽の適正な維持管理の確保や合併処理浄化槽の普及を促進するための事業を展開する。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	526,754
	決算	
	事業費 (A)	496,954
	人件費 (B)	29,800
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
汚水衛生処理率	%	95.5	目標	86.0
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浄化槽維持管理事業				15,577	2,777	1.2	0.5	1.0		
2	合併処理浄化槽普及啓発事業				7,311	811	0.3	0.5	1.0		
3	浄化槽助成事業	○	○		503,866	493,366	1.5	0.0	0.0		
計					526,754	496,954	3.0	1.0	2.0	0.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浄化槽維持管理事業

◇事業目的・事業対象

浄化槽が本来の機能を発揮し、汚水処理システムの役割を果たすためには、浄化槽法に基づいた適正な維持管理が不可欠であるため、浄化槽関連業に関する事務を適正に執行するとともに、維持管理状況等を把握するための管理台帳を整備する。

◇事業の概要

- 浄化槽清掃許可業者及び保守点検登録業者に対する指導業務の実施
 浄化槽関係業者に対して、浄化槽法に基づく維持管理の徹底についての指導を実施する。
 浄化槽保守点検登録業者講習会を開催し、事業者の知識向上を図る。
- 浄化槽管理台帳システム整備業務の実施
 平成24年度までに整備した浄化槽管理台帳システムの保守業務を実施する。
 届出等の浄化槽情報を更新入力し、市内にある浄化槽の設置状況や維持管理状況の把握に努める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S60	-	一般会計	法定受託事務 自治事務(その他)	浄化槽法	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	2,777
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	1,470
	一般財源	1,307
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	12,800
人工	正規	1.2
	再任用(h31)	0.5
	再任用(h26)	1.0
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
保守点検契約率 (%)		95.0			95.0

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 合併処理浄化槽普及啓発事業

◇事業目的・事業対象

浄化槽の適正な維持管理の確保や合併処理浄化槽の普及には市民の理解、協力が不可欠であることから、市民の汚水処理に対する関心を高めるため、戸別訪問などの普及啓発事業を展開する。

◇事業の概要

○戸別訪問による合併処理浄化槽への設置替えについての啓発及び維持管理指導

下水道事業計画区域外の地域における単独処理浄化槽世帯やくみ取便槽世帯に対して、合併処理浄化槽への設置替えを啓発する。

浄化槽法で定められている保守点検、清掃、水質検査の周知並びに実施率の向上を図るため、浄化槽管理者宅への戸別訪問等を実施する。

○普及啓発事業の開催

生活排水が水環境に与える影響を周知し、合併処理浄化槽の設置及び維持管理の必要性について啓発するため、市民を対象とした啓発事業を開催する。

○保守点検登録業者、清掃許可業者、指定検査機関と連携した維持管理啓発

浄化槽パトロールなどを関連業者と連携して実施することで効果的な維持管理の啓発を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H25	-	一般会計	自治事務(その他)	浄化槽法	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	811
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	811
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		6,500
人工	正規	0.3
	再任用(h31)	0.5
	再任用(h26)	1.0
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
全浄化槽に占める合併処理浄化槽の割合(%)		41.5			65.6
戸別訪問件数(件)		3,000			3,000

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 浄化槽助成事業

◇事業目的・事業対象

汚水処理の早期概成のためには、下水道事業計画区域外の合併処理浄化槽の普及促進が不可欠である。しかしながら、浄化槽設置費用の負担が合併処理浄化槽の普及が進まない主な要因となっている。このため、浄化槽設置者に対して補助金を交付することによって、市民の負担を軽減し、合併処理浄化槽の普及を促進させる。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.72】

○浄化槽設置整備事業

下水道事業計画区域外及び農業集落排水処理区域外で、10人槽以下の合併処理浄化槽を設置する市民に対し、槽の大きさ、処理方式並びに水域ごとに定められた補助金を交付する。

水質汚濁量の多い単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽に設置替えする市民には、新設時の補助額に一定額を上乗せした補助金を交付する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S63	-	一般会計	自治事務(その他)	浄化槽法	○	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	493,366
	決算	
	国・県支出	104,421
	市債	371,300
	その他	
	一般財源	17,645
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		10,500
人工	正規	1.5
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
全浄化槽に占める合併処理浄化槽の割合(%)		41.5		50.0	65.6
浄化槽設置補助金交付基数(基)	72	970		1,150	1,250

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 浄化槽助成事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
72	浄化槽設置整備事業 ・補助基数 970基	浄化槽設置整備事業 補助基数 1,050基	浄化槽設置整備事業 補助基数 1,100基	浄化槽設置整備事業 補助基数 1,150基

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

下水道事業の経営を支える下水道使用料収入の確保(翌年5月末時点の収納率を指標とする)

◇政策のコスト (千円)

		H27	
年関係費(A+B+C)	予算	水道事業会計に寄せて記載	
	決算		
	事業費 (A)		水道事業会計に寄せて記載
	人件費 (B)		水道事業会計に寄せて記載
	報酬 (C)		

◇政策の指標

政策指標 (単位)	単位	H36 目標値	年度	H27
収納率	%	99.67	目標	99.65
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	下水道事業(下水道事業費用)	○	○								
計					0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

下水道事業の経営を支える下水道使用料の確保

◇事業の概要

【重点戦略項目No.101】

料金収入の安定確保 : 新たに滞納に回る分を減らし、滞納分の早期解消を図り、収入の安定確保を目指す。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和42年度	—	事業会計	自治事務	下水道法	○	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	水道事業会計に寄せて記載
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
一般財源		
一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		
人工	正規	
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
収納率	101	99.65		99.65	99.67

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

行財政改革の取り組み (事業名) 下水道事業(下水道事業費用)

◇取組概要

料金収入の安定確保を目指し、滞納分の早期解決を図るとともに、新たに滞納に回る分を減らす努力をする。

◇行財政改革の視点 2 行財政基盤の強化

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

行政経営計画 取組番号 _____
取組事項名 _____

個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート (以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標 (単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
収納率	計画値	99.65	99.65	99.65	99.65	(H36)99.67
	実績値					
	計画値					
	実績値					
	計画値					
	実績値					
効果額 (千円)		0	0	0	0	0

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・快適な生活環境を保つための下水道の整備
- ・現状施設の機能を適切に保持していくための改築更新・耐震化
- ・下水道管きよの適正な維持管理

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	30,880,041
	決算	
	事業費 (A)	30,556,041
	人件費 (B)	324,000
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
基幹管渠の耐震化率	%	90	目標	80.9
			実績	
下水道人口普及率	%	82	目標	79.9
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)		○		20,342,878	20,300,878	6.0	0.0	0.0	0.0	0
2	浜松市下水道事業(資本的支出)		○		10,537,163	10,255,163	39.0	1.0	1.0	1.0	0
計					30,880,041	30,556,041	45.0	1.0	1.0	1.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

・下水道管きよの適正な維持管理

◇事業の概要

・下水道管きよの適正な維持管理

【やります!リスト 記載なし】

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S34	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法 等	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	20,300,878
	決算	0
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	18,073,353
	一般財源	0
一般会計繰入金		2,227,525
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		42,000
人工	正規	6.0
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

- ・快適な生活環境を保つための下水道の整備
- ・現状施設の機能を適切に保持していくための改築更新・耐震化

◇事業の概要

- ・基幹管きよ、処理場・ポンプ場等の下水道施設の耐震化及びマンホールの浮上防止対策の実施
 - ・管きよ、マンホールポンプ、処理場・ポンプ場の長寿命化計画に基づく改築更新の実施
 - ・市街化区域及び整備効率の高い下水道未普及地区への下水道管きよの整備
 - ・館山浄化センターの施設増設
 - ・供用開始区域の公共下水道への取付管設置の推進
 - ・市街地の浸水対策のための雨水きよ及び排水ポンプの整備の実施
 - ・合流区域における放流水質を改善するためのバイパス管整備等の実施
 - ・下水道が整備され供用開始となった区域における受益者負担金の徴収
 - ・既設管きよ等の施設について、他事業との調整等に伴う改良事業の実施
 - ・H27末の西遠流域下水道移管に向けた幹線管きよ設置と浄化センターの改築更新事業の実施
 - ・汚泥の有効利用を図るために新技術の導入を図る。
- 【やります!リスト 記載なし】

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S34	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法 等	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	10,255,163
	決算	0
	国・県支出	2,182,983
	市債	0
	その他	7,243,936
	一般財源	0
一般会計繰入金		828,244
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		282,000
人工	正規	39.0
	再任用(h31)	1.0
	再任用(h26)	1.0
	非常勤	1.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
基幹管渠の耐震化率(%)	—	80.9			90.0
下水道人口普及率(%)	—	79.9			82.0

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

平成27年度

(管理番号)
03 06 02 06 07720000 02

(担当課)
下水道工事課

(責任者)
鈴木 秀俊

(作成日)
平成 27 年 7 月 1 日

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

◇取組概要

行財政基盤の強化に向けて、下水道受益者負担金の収納向上、管路更生工法の採用・小口径マンホールの積極的採用による改築・建設経費の見直し等により、下水道事業全般におけるコストの縮減を進める。

◇行財政改革の視点 2 行財政基盤の強化

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する口にチェック)

行政経営計画 取組番号 _____
取組事項名 _____

個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート (以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標 (単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
下水道受益者負担金収納率(%)	計画値	99	99	99	99	(H30) 99
	実績値					
管更生工法採用延長(m) ※最終値は4年間の累計	計画値	1000	1000	1000	1000	4000
	実績値					
小口径マンホール設置箇所数(箇所) ※最終値は4年間の累計	計画値	50	50	50	50	200
	実績値					
効果額 (千円)		加算	45,195	45,195	45,195	45,195
						180,780

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・常に経済性を発揮するとともに公共の福祉を増進するよう下水道施設のポンプ場及び終末処理場を適正に管理運営する。
- ・全ての下水道管理運営施設の質的向上、コストの縮減を目指し、永続的な官民連携体制を構築する。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	1,634,013
	決算	
	事業費 (A)	1,431,613
	人件費 (B)	202,400
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
維持管理対象施設の民間委託数(集約化)	件	3	目標	
			実績	4
委託業務レベルの向上	レベル	2.5	目標	
			実績	レベル1:1、レベル2:3
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)		○		1,634,013	1,431,613	27.0	3.0	1.0	0.0	
計					1,634,013	1,431,613	27.0	3.0	1.0	0.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

下水道施設のポンプ場及び終末処理場を適正に管理運営し、もって都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全に資することを目的とする。

◇事業の概要

- 市内15箇所(中、南、北、西、御前谷、上島雨水、村櫛、都田、和地、瞳ヶ丘、観月園、蓬萊園、弁天島、西ヶ崎、金指)のポンプ場施設の維持管理事業
- 市内6箇所(中部、湖東、館山寺、細江、井伊谷、三ヶ日)の終末処理場の維持管理事業
- 事業場排水検査及び除害施設等の設置許認可事業
- 西遠流域下水道施設の県からの移管事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S42	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,431,613
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	139,809
	一般財源	1,291,804
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		202,400
人工	正規	27.0
	再任用(h31)	3.0
	再任用(h26)	1.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
下水道施設維持管理・故障発生数に対する修繕率(%)		80			90
下水道施設維持管理・年間運転可能期間(%)		95以上			95以上
事業場排水検査・立入検査数(件)		400以上			400以上

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・公共下水道マンホール等の維持管理。
- ・公共下水道取付管申請による取付管の設置。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	114,475
	決算	
	事業費 (A)	65,475
	人件費 (B)	49,000
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
取付管設置申請から完了まで3ヶ月間以内	%	100	目標	100
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)		○		13,962	6,962	1.0	0.0	0.0	0.0	
2	浜松市下水道事業(資本的支出)		○		100,513	58,513	6.0	0.0	0.0	0.0	
計					114,475	65,475	7.0	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

事業目的
 水環境を保つため、公共下水道施設の維持管理を行う。
 事業の対象
 公共下水道マンホール蓋等の施設。

◇事業の概要

管きょ維持管理事業 マンホール蓋等下水道施設の修繕業務

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和42年度	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	6,962
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	6,962
	一般会計繰入金	0
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		7,000
人工	正規	1.0
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
市民からの苦情(件数)		30			20

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

事業目的 公共下水道取付管の設置 事業対象 公共下水道管きよ

◇事業の概要

施設整備事業(取付管設置・公共起債対象事業) 施設整備事業(取付管設置・特環起債対象事業)
--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和42年度	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	58,513
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	58,513
	一般会計繰入金	0
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		42,000
人工	正規	6.0
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
取付管設置申請から完了が3ヶ月以内(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

--

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

下水道未普及地域における管きょ整備及び、既設下水道施設を適正に維持管理することにより、生活環境の改善及び、公共用水域の水質保全に努める。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	662,998
	決算	
	事業費 (A)	632,798
	人件費 (B)	30,200
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
下水道整備区域面積【旧天竜地域】	ha	385	目標	329
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)		○		139,346	132,846	0.7		0.4	0.2	
2	浜松市下水道事業(資本的支出)		○		523,652	499,952	3.2		0.5		
計					662,998	632,798	3.9	0.0	0.9	0.2	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

管きよ、マンホールポンプ等の施設の維持管理及び、4地区の浄化センターを適正に運転管理することにより、快適な生活環境の保全及び、公共用水域の保全につとめる。

◇事業の概要

- ①管きよ等の下水道施設を適正に維持管理する。
- ②4箇所に点在する浄化センターを適正に運転管理する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和42年度	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	132,846
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	132,846
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		6,500
人工	正規	0.7
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	0.4
	非常勤	0.2

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

下水道未普及地域の整備促進及び、既設下水道施設の改築・更新をすることにより、生活環境の改善及び、公共用水域の水質保全に努める

◇事業の概要

- ①船明土地区画整理事業区域内の下水道、雨水函の整備
- ②新規取付管設置要望箇所の整備
- ③水窪処理分区のマンホールポンプ設置工事
- ④老朽化した汚水ポンプ等の改良工事

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和34年度	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	499,952
	決算	
	国・県支出	233,937
	市債	252,714
	その他	
	一般財源	13,301
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	23,700
人工	正規	3.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	0.5
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
下水道整備区域面積【旧天竜地域】 (ha)		329			385

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
(予算費目名) 農業集落排水事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

農村地域の汚水排水を衛生的に処理することで、農業生産基盤の良好な維持管理の推進と農村環境の保全に努める。
農業集落排水施設の下水道への接続は、緑恵台は、接続統合に向けて整備を進め、その他4地区については、平成28年度に策定する最適整備構想をふまえ、今後の下水道への接続について検討していきたい。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	233,120
	決算	
	事業費 (A)	219,000
	人件費 (B)	14,120
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
農業集落排水地区数	地区	4	目標	5
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	やります	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	農業集落排水事業				233,120	219,000	1.6		0.8	0.3	
計					233,120	219,000	1.6	0.0	0.8	0.3	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 農業集落排水事業

◇事業目的・事業対象

農業集落排水処理施設から排出される生活排水、し尿を処理することで、農村の生活環境の向上と公共用水域の水質の改善を図り、施設を適正に維持管理する。

◇事業の概要

- ① 農業集落排水処理施設5処理施設から排出される生活排水・し尿を適正に処理するための施設の維持管理。(処理場施設等の運転管理委託)
- ② 緑恵台農業集落排水処理施設の公共下水道接続統合に向けた、管更生工事を施工する。(H27～H29)
- ② 農業集落排水事業に充当した公債費の執行。
- ③ 緊急時に対応するための予備費の執行。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	やります!リスト	主要事業
平成2年度	—	特別会計	自治事務(法令義務)	土地改良法、農業集落排水処理施設条例、農業集落排水事業分担金徴収条例	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	219,000
	決算	
	国・県支出	8,000
	市債	56,200
	その他	
	一般財源	37,768
	一般会計繰入金	117,032
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	14,120
人工	正規	1.6
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	0.8
	非常勤	0.3

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	やります! No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
農業集落排水地区数 (地区)		5		5	4

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み